

留学生を対象とした日本語指導の現状と課題

国際関係学科 東 弘子

2014 年度より教養科目全般が改定され、教養科目の初習外国語科目についてはこれまでの3段階(I～III)から、一律2段階(I,II)に変更となった。日本語についても同様であるが、昨年度までは学部留学生対象の「日本語」の科目名を利用し、クラス分けという形で便宜上短期留学生のレベルに割り当てていたところを、本年度より新しく協定大学交換留学生対象の科目群が正式に設置され、交換留学生の多様なレベルに対応できる体制作りを始めることとなった。同時に、文部科学省グローバル人材育成推進事業の取り組みの成果による協定大学の急増に伴い、交換留学生数が増加しレベルも多様化する中、2014 年度後期から、本格的に「学術交流協定大学留学生プログラム」が実施されることになった。新しいプログラムの開始にあたり、受け入れや履修指導に際しての課題も多く見つかった。

本報告では、2014 年度の学部留学生対象の日本語科目と、学術交流協定大学交換留学生対象のプログラムについて、現状と課題を簡単に報告する。

1. 2014 年度前期 留学生対象科目

前期に開講された留学生対象の科目は以下の表1の通りである。

〔表1: 2014 年度前期 留学生対象科目(日本語科目以外も含む)〕

科目名	開講時限	対象	レベル	担当者	内容
日本語I	月1限	学部1年	上級	服部亜衣子*	パラグラフ・ライティング
日本語I	木2限	学部1年	上級	中道一世*	大学生活に必要な口頭表現能力養成
日本語II	月2限	学部2年	上級	服部亜衣子*	論文・レポート作成等アカデミックライティング
日本語II	木1限	学部2年	上級	中道一世*	発表討論能力養成
日本語III	木3限	学部3・4年	上級	黒野敦子*	読解と要約技術
日本の文化	月3限	学部留学生	上級	伊藤伸江	日本の韻文・文化(文学)
多文化社会とコミュニケーション	月4限	学部生★	中上級～上級	あべ やすし	教養教育科目(多文化の内実を問いなおす)
総合日本語II	月2限	交換	初中級～中級	馬場典子*	口頭による説明能力養成
漢字・語彙B	月4限	交換	中級～上級	山口和代*	日常生活で必要とされる語彙や漢字表現
プロジェクトワークB	火2限	交換	中級～上級	加藤淳*	プロジェクト型学習による発表能力養成
	金2限	交換	中級～上級	荻谷太佳子*	
総合日本語III	火3限	交換	中上級	加藤淳*	総合的な日本語能力養成
総合日本語II	木2限	交換	初中級～中級	米勢治子*	総合的な日本語能力養成
トピックディスカッションB	金3限	交換	初中級～中上級	中道一世*	日本の文化・社会に関する読解と討論

★は一般の学部生対象科目だが、留学生にも履修を勧めている科目 *は非常勤講師

昨年度までの入学生の入学時カリキュラムは保証されているため、学部留学生用の科目は日本語I、II、IIIと用意されている。それぞれ対象学年が1年次から3年次であり、レベルは全て上級(N1相当)である。

交換留学生は前期 16 名(韓国 7 名、ドイツ 3 名、フランス、メキシコ各 2 名、スペイン、中国各 1 名)であった。交換留学生のうち上級者であれば、学部生対象の科目を履修できるのも昨年度までと同様である。前期は、科目名が新しい交換留学生対象のものに改定されたものの、交換留学生の科目履修の方法については昨年度までと同様、プレイスメントテストに基づき在籍する学生にできるだけ適合したレベルの授業にそれぞれが参加するよう、国際交流室による指導をおこなうという形であった。

2. 2014 年度後期 留学生対象科目

後期に開講された留学生対象の科目は次ページの表 2 の通りである。短期受け入れプログラムのコースとして開講された交換留学生の科目を大幅に増加した。そのほか、下記の正規履修科目以外に、特に初中級の学生を対象として、月 1 限、水 1 限、金 1 限に **Active Communication** という学習時間帯を設け、宮谷教員と本学日本語教員課程の日本語教育実習履修学生による学習サポートを実施した。

また、従来、交換留学生の受入に関しては協定大学や地域毎の部会と国際交流室が中心となって実務をおこない、受入実態の把握や議論を国際交流推進委員会がおこなってきたが、それに加え、本年度から交換留学生受入プログラムの科目に関わる教務上の事項について議論する「学術交流協定大学留学生対象科目小委員会」が教育研究支援センターの下に組織され、科目の開講や交換留学生の単位認定の所掌を明確化することとなった。

後期からの交換留学生は 24 名となった。国の内訳はメキシコ 6 名、ドイツ 5 名、スペイン 3 名、フランス、ブラジル、韓国、中国各 2 名、ペルー、台湾各 1 名である。

後期からは、「学術交流協定大学留学生プログラム」として、初中級、中級、中上級、上級の 4 つのコースを設置し、それぞれに用意された科目をコースとしてまとめて履修するよう指導する予定であったが、コースコーディネイトの段取りの中で、責任者の交代等もあり指導が徹底できず、授業開始後の学生からの申し出などにより、科目履修が数週間にわたり決定しないなどの混乱が生じてしまった。授業内の活動において、学生に役割を与えチームでプロジェクトを実施する科目なども多く、学生の履修が定まらない中、各授業の運営においてかなり支障が出たようである。

また、本学のコースでは、入門や初級は用意されていないが、初中級のレベルのクラスを履修する日本語レベルに達していない留学生にとっては、授業での学習に困難な点が多くあったと思われる。

日本語レベルが上級である留学生が日本語も含め、学部生対象の授業に積極的に参加することで、多くの学生と交流を持てることには大変意義があるが、学生のレベルに合わせたきめ細かい指導によって、半年もしくは 1 年の留学期間のうちに、より有意義な学習成果を得ることができるよう、今年度の課題を踏まえ、次年度以降、先方大学のスタッフと受入前のより綿密な打ち合わせや留学後のカウンセリング、コースコーディネイトといったコース運営に一層力を注ぐことが望まれる。

[表 2:2014 年度後期 留学生対象科目(日本語科目以外も含む)]

科目名	開講時限	対象	レベル	担当者	内容
日本語I	月1限	学部1年	上級	鷺見幸美*	パラグラフ・ライティング
日本語I	木2限	学部1年	上級	中道一世*	大学生活に必要な口頭表現能力養成
日本語II	月2限	学部2年	上級	鷺見幸美*	論文・レポート作成
日本語II	木1限	学部2年	上級	中道一世*	アカデミック場面での口頭表現能力養成
日本語III	木3限	学部3・4年	上級	黒野敦子*	読解と要約技術
Japan Seen from Outside	月3限	学部生★	英語による授業	マツイ&ヤング*	教養教育科目(Let's Talk and Think about Japan!)
日本の社会	月3限	学部留学生	指定なし	樋口浩造	現代日本社会事情
英語連続セミナー	月4限	学部生★	英語による授業	宮浦国江ほか	教養教育科目(さまざまな分野からのゲストスピーカーによる英語講演)
多文化社会とコミュニケーション	月4限	学部生★	中上級～上級	亀井伸孝	教養教育科目(世界の手話を含む多様なコミュニケーション)
総合日本語I	月2限	交換	初中級	荻谷太佳子*	総合的な日本語能力養成 テキスト『できる日本語初級』 『漢字たまご初級』
	火2限	交換	初中級	荻谷太佳子*	
	木3限	交換	初中級	加藤淳*	
	金2限	交換	初中級	馬場典子*	
実践日本語A	木1限	交換	初中級	宮谷敦美	日本人学生とともにおこなう実践的な会話練習
Discover Japan	木4限	交換	初中級～中級	吉川雅博ほか	英語による日本紹介とフィールドワーク
総合日本語II	月2限	交換	中級	馬場典子*	総合的な日本語能力養成 テキスト『できる日本語初中級』
	水2限	交換	中級	米勢治子*	
総合日本語III	火3限	交換	中上級	加藤淳*	総合的な日本語能力養成 テキスト『できる日本語中級』
	木3限	交換	中上級	馬場典子*	
日本語文章表現	木2限	交換	中上級	馬場典子*	馬場:パラグラフライティングの基礎
語彙・漢字A	木4限	交換	中級～上級	加藤淳*	日常生活で必要とされる語彙や漢字表現
プロジェクトワークA	火2限	交換	中級～上級	加藤淳*	プロジェクト型学習による発表能力養成
	金2限	交換	中級～上級	荻谷太佳子*	
トピックディスカッションA	金3限	交換	中級～上級	中道一世*	日本の文化・社会に関する読解と討論
フィールド演習	火4限	交換	中級～上級	吉川雅博ほか	日本紹介とフィールドワーク

★は一般の学部生対象科目だが、留学生にも履修を勧めている科目

*は非常勤講師